

## 大津町よかモン！発表会

大津町のいいところ発表会を開催

3月18日、大津小学校3年生およそ130人がイオン大津店で「大津町のいいところ発表会」を行いました。この発表会では、児童たちが総合的な学習の時間を通じて発見した町の魅力について、「スポーツ」をはじめとする6つのテーマを手作りのパネルを使用して紹介しました。

地域の皆さんや役場職員へのインタビュー、体験や交流を通して学んだことを、保護者や買い物客に分かりやすく発表し、会場は温かい拍手に包まれました。



発表を終えた3年3組  
それぞれの思いを込めて作成したパネルを持って記念撮影

## 雨の日はゆっくり走ろう

KDSオリジナル「ゆるや傘」贈呈式

この春、町内の小学校に入学する新1年生のためにと熊本ドライビングスクール(以下、KDS)から「KDSゆるや傘」が、贈呈されました。

雨の日の交通事故発生件数は、晴天時の約5倍と言われています。この傘を見かけたドライバーに、雨天時の路面や視界の悪さを再確認してもらい、思いやりのある運転を心がけて欲しいとの思いから作られています。送られた傘は、入学式で新1年生に配布されました。



右から金田町長、(株)くまもとKDSグループ  
永田佳子代表取締役、吉良教育長

## みんなで楽しく豊かな人生を

老人クラブ連合会主催の福祉大会を開催

老人クラブ連合会主催の「福祉大会」が2月22日に生涯学習センター文化ホールで開催されました。友愛活動や社会奉仕活動などで功績のある個人・団体の表彰式や、老人クラブ連合会会員14団体による歌やおてもやん、麦畑やひょっとこ踊りなどの発表がありました。大津太鼓清流会による太鼓の演奏や、元気あっぷサポーターズの会による健康体操もあり、会場は大いに盛り上がりしました。



老人クラブ連合会会員による「花笠音頭」

## 庁舎内の利便性向上のために

シルバーカーをいただきました

役場に来庁された皆さんが安全に庁舎内を移動できるようにと、3月3日に「大津町身体障害者福祉会」の役員である山形侑子さんからシルバーカーが町に寄贈されました。山形さんは日頃から大津町の身体障がい者福祉の推進にご貢献されており、今回はその活動の一環として寄贈されたものです。役場正面玄関に設置していますので、役場に来庁した際はご活用ください。



寄贈されたシルバーカー  
正面玄関から入って左側に設置しています

## 地域の農業振興に貢献

第66回全国土地改良功労者等表彰

3月26日、全国の土地改良区と市町村など土地改良事業を行う団体で組織される全国土地改良事業団体連合会が主催する表彰式が東京都で開催され、護川土地改良区理事長の今村達也さん(矢護川)が全土連会長表彰を受けられました。これは、土地改良事業の推進に尽くし、地域農業の発展に多大なる功績を残された人を表彰するものです。今村さんは、長年護川土地改良区の理事を務め、その他菊池郡市の農業関係役員も務められており、農業全般の振興に寄与したことが評価されました。



第66回全国土地改良功労者等表彰を受けた今村達也さん

## 桜の寄贈ありがとうございました

100周年を記念して町へ桜樹木の寄贈

(株)肥後銀行から桜樹木の寄贈があり、3月27日に川添大津支店長から目録の贈呈がありました。肥後銀行は今年7月で創立100周年を迎え、周年記念行事として県内の全46自治体に桜の寄贈を行っています。寄贈を行った川添支店長は「地域の成長のシンボルになってほしい」と述べ、金田町長は感謝の言葉を送りました。寄贈された桜樹木は、駅南東公園(かぶとむし公園)に植えられています。



目録を手にする(株)肥後銀行川添英男支店長と金田町長

## 農福連携で人が輝く農業を

(株)なかせ農園「ディスカバー農山漁村の宝」受賞

第11回ディスカバー農山漁村の宝のビジネス・イノベーション部門で(株)なかせ農園(岩坂)が特別賞を受賞しました。これは、農山漁村の地域資源を引き出すことで地域の活性化や所得向上に取り組む優良事例を農林水産省が選定するもので、令和6年度は全国496件のうち30件が選定されました。(株)なかせ農園は人材不足が進む地域農業での働き手の確保のため、農福連携による農業を実施。今回その農福連携が「創造的復興と経営の選択肢としての農福連携」と評価されました。



受賞報告に訪れた(株)なかせ農園の  
中瀬靖幸さん(中央右)と南健太さん(中央左)

## 高校生に仕事の魅力を！

町内企業の工場見学会を開催

3月12日、大津町企業連絡協議会(78社)主催による工場見学会が開催され、翔陽高校を来春卒業予定で、就職を希望している生徒125人が同協議会会員企業20社を訪問しました。見学会では、各企業の仕事の内容を学ぶとともに、工場など働く現場を見学し、生徒からはさまざまな質問を行うなど、活発な意見交換が行われました。参加した生徒は、「実際に現場を見ることができ、どのような仕事をしているのかイメージができた」と話し、将来について考える機会になりました。



工場内を見学し、真剣に説明を聞く生徒たち